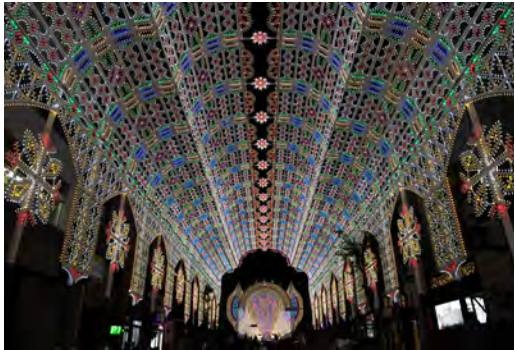




神戸ルミナリエ 冬の風物詩をご覧ください(イメージ)



語り部
ダニエル・モンテベルデさん

プロフィール…クリエイティブ・ディレクター／プロデューサーとして広告、映像制作、イベント・プロモーションなど様々な分野の国際プロジェクトを手掛け、その運営能力と文化的造詣は高い評価を受けている。元NHKワールド・ラジオシャパン・アナウンサー、政府高官レベル同時通訳、東京文化資源会議文化委員、立山黒部世界ブランド化推進会議パネリスト。作家、工学博士号取得、イタリア国籍。

語り部と旅する

復興の光 神戸ルミナリエと 神戸建築散歩 3日間

集合・日数・出発日	旅行代金
【新神戸駅集合・3日間】 2月5日(木)	¥155,000

(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥25,000にて承ります。)

1	新神戸駅 12:30 集合 ●(語り部プログラム●通常非公開の●中華民国留日神戸華僑總會(旧ゲンセン邸)、●シュウエケ邸を近代建築の専門家、倉方俊輔氏とともに見学します) ●夕食は、神戸北野ホテル別邸の「神戸北野テラス」にて神戸の夜景を楽しみながらお召し上がりください。 【2連泊】(神戸泊) □ □ 夕
2	神戸 ●午前、●神戸海洋博物館、○神戸港震災メモリアルパークにご案内します。昼食は神戸牛をお召し上がりください。 ●午後、語り部プログラム●ルミナリエの装飾のデザイナー、ダニエル・モンテベルデ氏から神戸ルミナリエ 2026 のデザインや見どころを伺います。 ●夜、神戸ルミナリエの見学へ。(神戸泊) 朝昼 □
3	神戸 ●神戸の文化復興のシンボル ●兵庫県立美術館、● Ando Gallery (昼食は美術館内のレストラン Rokumei Saryu (ロクメイ サリュウ) にて) ●新神戸駅 14:30 解散 朝昼 □

■最少催行人員：12名様 ■食事：朝食2回、昼食2回、夕食1回
■添乗員：新神戸駅ご集合時から新神戸駅ご到着時まで同行します。
■ホテル：神戸／ホテルオークラ神戸(洋室)
■利用予定バス会社：神姫観光バスまたは同等クラス



ルレ・エ・シャトー・グランシェフの
称号も持つ山口浩氏

ルミナリエとは、イタリア語で「電飾」を意味する言葉。中世イタリアの祝祭装飾が起源であるとされ、現在ではイタリア南部を中心に見ることが出来ます。1995年12月の第1回「神戸ルミナリエ」は、同年1月に発生した阪神淡路大震災の復興の象徴として開催されました。未だ復旧途上にあった神戸の夜に灯った荘厳な光の芸術は、大災害に打ちひしがれた神戸の街と市民に大きな感動と勇気、希望をもたらしたのです。開催直後から各界や市民から継続を望む多くの声が寄せられ、以来神戸の冬の風物詩として続けられています。2026年には31回目が開催予定。第1回の

1995年は「夢と光」、第30回の2025年は「30年の光、永遠に輝く希望」と、毎年テーマに沿って一新されたイルミネーションが神戸の町を彩ります。会期はわずか10日のみ。この時期にだけ輝く復興の光をご覧くださいたく機会といえました。

今回は、2011年から毎年ルミナリエの装飾をデザインしているイタリア人デザイナーのダニエル・モンテベルデさんより、2026年のデザインや見どころについてお話を伺ってから、実際にルミナリエを見学いただくプログラムといたしました。



兵庫県立美術館 ©Masaki Tada

初日の夕食はルレ・エ・シャトー加盟のラグジュアリーホテル「神戸北野ホテル」の別邸として2003年にオープンした「神戸北野テラス」へ。神戸の美しい夜景を一望できるレストランで、北野ホテルの総料理長・山口浩氏が手がけるメニューをお楽しみ



神戸北野テラス 黒毛和牛料理の一品(イメージ)

古くから大陸との交易港として栄えた神戸。1868年の開港以来、国際交易港として設備が整えられ、日本を代表する港町に発展しました。神戸港の歴史を知る海

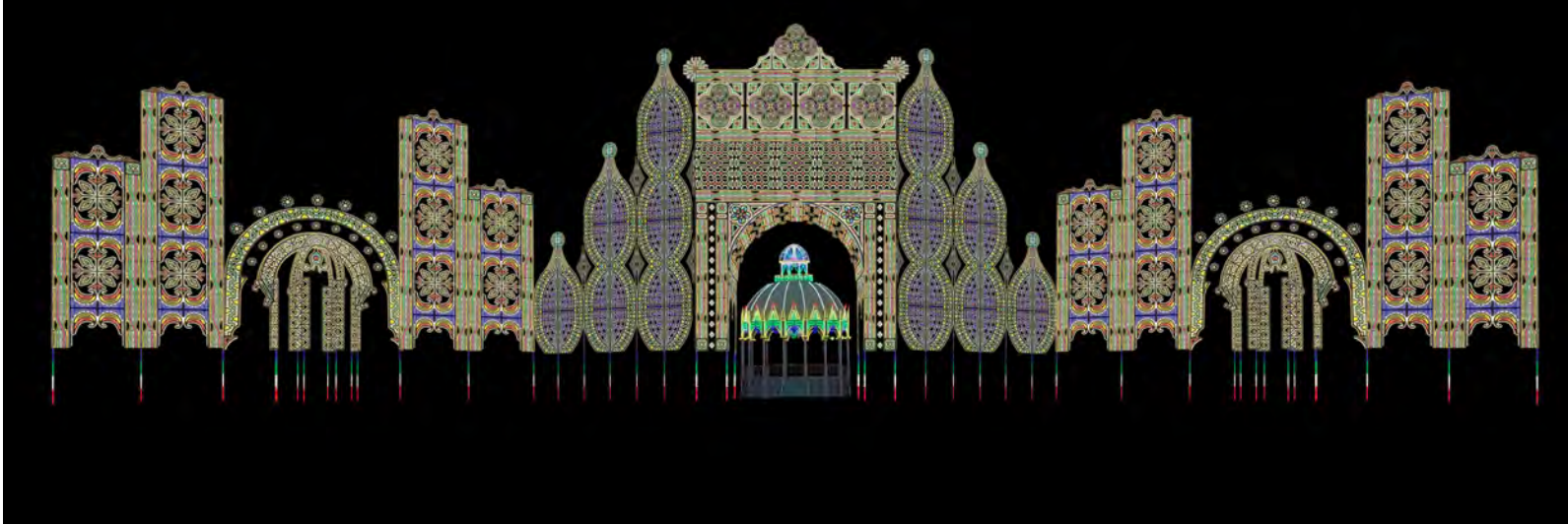
洋博物館や、2002年に安藤忠雄氏の設計により阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして誕生した兵庫県立美術館を訪れます。第2展示棟の Ando Gallery では、安藤忠雄氏の建築模型やドローイング等が紹介されています。

いただきます。2日目には神戸牛を、最終日はアーティスティックな兵庫県立美術館内のレストラン「Rokumei Saryu (ロクメイ サリュウ)」でのランチをご用意しました。港町らしく多彩な食材を生かした、食の町神戸の美食をお楽しみください。

神戸の歴史を知る博物館や 美術館を訪れます

「神戸復興の光」ルミナリエを
制作者の解説とあわせてご覧いただけます

語り部
プログラム②



神戸ルミナリエ(イメージ) ※画像は第30回のものです ©Kobe Luminarie O.C.

日本旅百景 兵庫 冬の風物詩

31年目を迎える神戸“復興の輝き”



ゲンセン氏の邸宅が中華民国留日神戸華僑總會によって大切に使われています

シウエケ邸
(旧 A.N. ハンセル氏邸宅)

もとは明治期に活躍したイギリス建築家 A.N. ハンセル氏の自邸で、1896年の竣工。プリティッシュ・コロンIAL 様式で、庭園には芝生に石灯籠を配置するなど和

プロフィール…建築史家。大阪公立大学教授。著書に『京都近現代建築ものがたり』『東京レトロ建築さんぽ』『伊東忠太建築資料集』『吉阪隆正とル・コルビュゼ』『東京レトロ建築さんぽ』『伊東忠太建築資料集』『吉阪隆正とル・コルビュゼ』ほか。建築をテーマにした日本最大規模のイベント「東京建築祭」の実行委員長、フィクエス大阪、「京都モダン建築祭」の実行委員を務める。日本近現代の建築史の研究と並行して、建築の価値を社会に広く伝える活動を行っている。



語り部
倉方俊輔さん

非公開の異人館も訪問
ハイカラな港町・神戸の散策をお楽しみください

組織で、ドイツ人実業家ゲンセン氏の旧宅を拠点にしています。1909(明治42)年頃に建てられた建物で、木の風合いを生かした下見板張り、ベイウインドウ(出窓)、レンガ積み煙突などの特徴があり、京都・同志社大学にある重要文化財「ハリス理化学館」を設計した A.N. ハンセル氏が手がけたものと考えられています。



調度品も受け継いで使われています(シュウエケ邸)

このたびは、ルミナリエのデザイナーであるダニエル・モンテベルデ氏と、建築の専門家倉方俊輔氏、2人の語り部からお話を伺い、神戸の歴史と今を深く知る企画といたしました。わずか10日間の神戸ルミナリエの幻想的なひとときに合わせた旅です。復興の光とともに神戸の魅力を感じていただければ幸いです。

洋折衷の要素が楽しめます。館内のインテリアも国際色豊か。1階のシャンデリアはイタリア製、家具はフランス製。ペルシャ絨毯も見事です。1954年からはユダヤ人貿易商のシュウエケ家の自邸となり、今も使われています。

■各コース共通の旅行条件とご注意

■宿泊施設は特に明記してあるものを除きバスタブ・トイレ付きのお部屋です(大浴場などの施設がある場合、シャワーのみ、あるいはバスタブ・シャワーなしのお部屋となる場合があります)。 ■お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金にて承ります。その場合は洋室シングルルームまたは和室となります。 ■旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって14日目にあたる日以降の現地合流、離団はお受けすることが出来ませんので、なるべく早めにお申し出ください。 ■キャンセル料半額制度は国内旅行の場合適用外となります。ご注意ください。 ■マークの説明 ✈=航空機 🚆=列車 🚌=バス 🚗=自動車 朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 □=食事なし ●=入場観光 ○=下車観光

ご旅行条件(抜粋)

●この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。
別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

1. 旅行のお申込み・予約・旅行契約の成立

- (1) お申込みは、当社にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入のうえ、申込金(40,000円又はパンフレットに明示した場合はその額)を添えてお申込みいただきます。
- (2) 当社は、電話、ファクシミリ、インターネット、Eメールその他の通信手段による旅行契約の予約を承ります。この場合、旅行契約は、予約の時点では成立しておらず、当社が旅行契約の締結を承諾した旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金のお支払いをしていただきます。この期間内に申込金のお支払いがなされない場合、当社は、予約はなかったものとして取り扱います。
- (3) 旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。なお、お支払い対象旅行代金や、申込金をクレジットカードを利用、自動引き落とし方法でのお支払い方法を選択されたお客様との旅行契約は、当社が契約の締結を承諾する旨のメールがお客様に到達した時に成立します。旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以降にお

申込みの場合、旅行開始日前の当社が指定する期日までに支払っていただきます。

3. お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

4. 旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ ホテル等の宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。) 及び税・サービス料金
 - ⑤ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

5. 旅行代金に含まれないもの

- 第4項の他は、旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。
 - (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) クリーニング代、電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付けその他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

- (3) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (4) ご希望者のみ参加されるオプションツアー(別途の小旅行)の料金
6. 取消料について
お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことによりいつでも旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目(日帰り旅行にあっては10日目)に当たる日以降8日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降2日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の30%
旅行開始日の前日に解除するとき	お支払い対象旅行代金の40%
当日(旅行開始前)に解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%
貸切船舶を利用するとき	当該船舶に係る取消料規定による

ご旅行条件は、2025年9月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施  **ワールド航空サービス**

WEBもどうぞ  **ワールド航空** **検索**
<https://www.wastours.jp>

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)
 **ボンド保証会員**  **旅行業公正取引協議会 会員** 

- ☐ **東京支店** TEL : 03-3501-4111
東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩
- ☐ **大阪支店** TEL : 06-6343-0111
大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹
- ☐ **名古屋支店** TEL : 052-252-2110
名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

- ☐ **九州支店** TEL : 092-473-0111
福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子
- ☐ **札幌支店** TEL : 011-232-9111
札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智
- ☐ **湘南支店** TEL : 0466-27-0111
神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。 (株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号